



©Atsunobu Kohira, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

小平 篤乃生「Carbon Variation N°1」

会期：2017年9月1日（金） - 9月26日（火）

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

オープニングレセプション：9月2日（土）18:30 - 20:00

トークイベント：9月2日（土）17:00 - 18:30

※小平篤乃生 × 橋本梓（国立国際美術館 主任研究員）

2017年9月1日（金）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、小平篤乃生個展「Carbon Variation N° 1」を開催いたします。

石炭という素材をめぐる小平は数年来の逍遙を続けている。出会いは走査顕微鏡で見た景色だった。レンズの向こう、超クローズアップの石炭の地肌は美しきグレースケールの世界で、まるで未知の惑星のごとき壮大な眺めだったという。そこから始まった旅を「石炭の巡礼」と小平は名付けたが、あらかじめ定められた目的地はなく、決まった道筋もない。

数億年前を生きた巨大なシダ植物たちが地中深く埋もれ、地熱でじりじりと熱せられ、計り知れない圧力をかけられて錬成される過程を想えば、石炭という物質は彫刻的に生み出されると言えるかもしれない。温度を加え、ゆっくりとこねられ、冷えてできた彫刻。それは、人類が現れるより遥か昔、地球上に繁茂した生き物の証左であり、生成されるまでの永い永い年月を無言のうちに内包する塊／ヴォリュームである。

地域的な偏りが比較的少なく、埋蔵量の多い化石燃料である石炭は、人類にとって身近なエネルギー資源だ。それは燃やされて電気エネルギーとなり、暮らしの中に偏在している。今回、小平が展示室で想起させるのはそうしたエネルギーへと変換された石炭だが、エネルギーというよりもむしろ生命の源泉であるところの「精気」というべきかもしれない。地球が生み出した漆黒の彫刻、石炭に宿る精気。エネルギーはその精気の発現である。石炭を用いて特別に創られたインクが、ウォール・ドロ잉のメディウムとなり空間を満たす。ドロ잉の基点となる壁面の電源から採られたエネルギーは、部屋を薄暗く照らす明かり（その暗さは洞窟を思わせるという）となり、スピーカーを通して間欠的なノイズを響かせる。こうした小平の手つきには、石炭の精気の「可視化」ではなく、「空間化」または「ヴォリューム化」という言葉がふさわしい。かねてより音は小平にとって重要なモチーフのひとつであるが、この非物質的な存在に対しても、彼はそれが空間を満たすという点において量塊／ヴォリュームをもつと考える。音量を大きくすることをヴォリュームを上げると言うが、小平の実際に空間を占める音の体積が増えるような、あたかも彫刻的イメージを持っている（もちろん実際にはそれが振動現象であることは了解の上で）。空間全体を満たすドロ잉が音を伴って光のなかに立体的に立ち現れるとき、黒いダイヤとも言われる石炭の精気が、それが生み出された長い年月を超えてヴォリューム化される。

興味の赴くまま、偶然の出会いに導かれて「石炭の巡礼」は続く。本展はその旅の一章であり、ボキャブラリーにこだわるなら「一巻(a volume)」であるとも言えるのだろう。

橋本 梓(国立国際美術館 主任研究員)



■作家コメント

絶え間なく溢れる力が光と音を作り出す。
そのエネルギーはどこから来るのだろうか。
どこへゆくのだろうか。
石炭の墨と糸。
手が植物の化石に染まり
エネルギーの影が残る。

エネルギーについて考え始めたのは6年前。最近、石炭をテーマに作品を作っている。掘り下げればどこまでも続いている。でもまだ見えない光に続いているような気がする。そこには古代の精霊がいる。僕はこの精霊との遭遇を求め続けている。精霊が放つエネルギーの糸を伝って、石炭の巡礼をしている。

小平篤乃生

■オープニングレセプション

日時：2017年9月2日（土）18:30-20:00
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

■トークイベント

日時：2017年9月2日（土）17:00-18:30
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku
登壇者：小平 篤乃生 × 橋本 梓
※事前申込制、参加費：無料

橋本 梓（国立国際美術館 主任研究員）

1978年滋賀県生まれ。2008年より国立国際美術館に研究員として勤務。同館での主な企画展に「風穴もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから」（2011年）、「〈私〉の解体へ：柏原えつとむの場合」（2012年）、「THE PLAY since 1967 まだ見ぬ流れの彼方へ」（2016年）、共同キュレーションによる「他人の時間」（2015年）など。共訳書にジョナサン・クレーリー『知覚の宙吊り』（2005年、平凡社）。

【お申し込み方法】

件名「トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jpまでメールでお申し込みください。

*定員（20名）になり次第、受付を終了いたします。

*ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

■関連情報

ベテューヌ(フランス)で開催されるグループ展に参加致します。

“Intériorités”

会期：2017年9月9日（土） - 2018年2月18日（日）

会場：LABANQUE BÉTHUNE(44 Place Georges Clémenceau, 62400 Béthune)

キュレーション：Léa Bismuth

詳しくは：<https://www.facebook.com/labanquebethune/>



■作家プロフィール

小平 篤乃生 (こひら あつのぶ)

1979 広島生まれ
活動本拠地 パリ(フランス)

2008-10 Le Fresnoy, Studio National des Arts contemporains(ル・フレノア国立現代アートスタジオ)卒業(トゥールコワン, フランス)
2000-06 Ecole Nationale Supérieure des Beaux-Arts de Paris(パリ国立高等美術大学)卒業(パリ, フランス)
1997-00 Atelier Chardon Savard(アトリエ・シャルドン・サヴァール服飾学校)卒業(パリ, フランス)
1997 Collège du Léman カレッジ・デュ・レマンインターナショナルスクール卒業(ジュネーブ, スイス)

【主な個展】

2017 京都国際写真祭 2017 サテライトイベント「Coalscape 石炭のインキ」食堂ルインズ(京都, 日本)
2016 「Ode à l'immanence」FORUM(京都)
2016 「Outretemps」Galerie Maubert(パリ, フランス)
2015 「Vanitas」ユミコチバアソシエイツ ビューイングルーム新宿(東京)
2015 「ARTU les expositions」7 universités (ノール=パ・ド・カレー, フランス)
2014 「Pérennité Passagère」Espace d'art contemporain Les Roches(ル・シャンボン・シュール・リニョン, フランス)
2014 「バーチャル展覧会 Musique de Chambre」ヨーロッパ写真美術館(パリ, フランス)
2013 「Ouverture de Bombyx Mori」ヨーロッパ写真美術館(パリ, フランス)
2012 「Instrument pour Saint-Louis」クリスタル美術館(サン・ルイ, フランス)
2012 「City Sound」広島三越画廊(広島)
2011 「Composition rythmique」EPRMNTL 画廊(トゥールズ, フランス)
2006 「Sound trap」Espace Lhomond(パリ, フランス)

【主なグループ展】

2016 「Partition du Silence」Anne-Sarah Benichou(パリ・フランス)
2016 「Carbon Lab」YIA アートフェア(パリ・フランス)
2015 「SYMBOLS-COLLECTIVE EXHIBITION」Galerie Sisso(パリ・フランス)
2015 「ひらけし時」CAPSULE(東京)
2015 「Voyager dans les sens (Kana Sunayama&Takeshi Sugiura)」国際大学都市(パリ, フランス)
2014 「La légende des origines (curated by Léa Bismuth)」Galerie Maubert(パリ, フランス)
2014 「Variation, Show Off Art Fair」Espace Blancs Manteaux(パリ, フランス)
2014 「Hypothèse de l'Impact géant」Le Careau(セルジー, フランス)
2014 「Condensation (curated by Gaël Cahrbau)」メゾン・エルメス・ドサンパーク(ソウル, 韓国)
2014 「Condensation」銀座メゾンエルメスフォーラム(東京)
2013 「Traversée d' Archipels」ル・アーブル美術大学(ル・アーブル, フランス)
2013 「Ce que le sonore fait au visuel」La Bastide du Château de Servières(マルセイユ, フランス)
2013 「ニューブランシュ京都」京都市立芸術大学ギャラリー KCUA(京都)
2013 「Tacet」ドール美術館(ドール, フランス)
2013 「Condensation」パレドトーキョー(パリ, フランス)
2013 「Échappée Belle」グランパレ(パリ, フランス)
2013 「EXIT-Natures artificielles」La Gare Saint-Sauveur (リース, フランス)
2013 「EXIT-Natures artificielles」La Maison des arts de Crèteil (クレティユ, フランス)
2013 「EXIT-Natures artificielles」Manège(モーブージュ, フランス)
2012 「Kyrielle Cucci(ライブパフォーマンス)」Festival Vision'R(アングレム・ポアティエ, フランス)
2012 「Kyrielle Cucci(ライブパフォーマンス)」IRL Performance Centre Mercoeur(パリ, フランス)
2012 「Immatériel de projet(curated by Chun-chi Wang)」Bex 画廊(パリ, フランス)
2011 「Made in Choi」Atelier choi(パリ, フランス)
2011 「Drôle de Temps(curated by Leïla Simon)」Jeune Création 画廊(パリ, フランス)
2011 「Regard sur Le Fresnoy」ロンク市役所(ロンク, フランス)
2010 「Imaginez maintenant フェスティバル」(トゥールーズ, フランス)
2010 「Panorama12」ル・フレノア現代アートスタジオ(トゥールコワン, フランス)
2009 「Osoosphère フェスティバル」La Laiterie (ストラスブール, フランス)
2009 「Panorama11」ル・フレノア現代アートスタジオ(トゥールコワン, フランス)
2008 「mission marais」Galerie Schirman & de Beaucè シャルマン&ドゥ・ボセ画廊(パリ, フランス)
2008 「Group show」(コルシカ島, フランス)
2007 「Wonderland」Galerie Schirman & de Beaucè シャルマン&ドゥ・ボセ画廊(パリ, フランス)
2007 「Jeune Création」Bellevilloise (パリ, フランス)
2006 「20 e venti(curated by Giuseppe Penone)」(サビーナ, イタリア)
2006 「Salon d'art contemporain」la marie de Montrouge(モンルージュ, フランス)
2005 「Group show(curated by Giuseppe Penone)」(アーネム, フランス)
2005 「Première vue (curated by Michel Nuridsany)」Passage de Retz (パリ, フランス)

【アーティストレジデンス】

2012 エルメス財団アーティストインレジデンス
2011 フランシュコンテ地域現代芸術財団(ブザンソン, フランス)
2011 Cité Internationale des Arts de Paris(パリ, フランス)
2008 Cité Internationale des Arts de Paris(パリ, フランス)

【パブリック・コレクション】

フランシュコンテ地域現代芸術財団

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。
ユミコチバアソシエイツ 担当: 鈴木
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日